

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想 【国語／国語総合Ⅱ】

1. 対象（実施を想定する学校・生徒の実態の概要）

読み書きを苦手とする生徒が多く在籍しているが学習には意欲的に取り組む。ICT機器への順応性も高く、意見共有や課題の提出をこなしている。1年次の漢文学習では、故事成語「五十歩百歩」を通して訓読の決まりについて理解する学習を行った。（知識及び技能（2）ウ）

2. 単元名「漢詩の歴史的・文化的背景を知り、内容を解釈する」（全8時間）

教材名：杜牧「山行」教科書

3. 単元で育成すべき資質・能力の三つの柱（単元の評価規準）

①知識・技能	古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解できる。 〔知識及び技能〕（2）イ
②思考・判断・表現	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力〕（B）読むことエ
③主体的に学習に取り組む態度	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図ろうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

4. 本時の目標 省略

5. 授業展開【 本時 ・ 単元 】

解決したい課題や問い

日本人はどのように漢詩を解釈してきたのだろうか？

考えるための材料

- ① 漢詩紹介（公益財団法人関西吟詩文化協会）
- ② 三昧詩鈔（future learn「杜牧「山行」詩解釈」）
- ③ インターネットが使用できる端末（貸出用chromebook）
Googleアプリケーションを活用し、意見の共有と集約、課題の提出に使用する。

想定される活動

- ① 楓林・霜葉・紅・花の字句で赤々と燃えるような美を描きだしている。
- ② 作者の隠れた思いが託されている可能性がある。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

Jamboardによる授業集団全体での共有

10分

心情と状況で付箋の色を変えるようにさせる。

1. 考えるための材料①と初読後に記した作者の心情と詩作時の状況を比較する。
2. Jamboardで意見を共有し、意見を集約する。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

よまれている季節と異なる花と比較することで、赤さをより強調する効果と奇抜さが感じられるが、それは、下心を隠す目的があるのではないか。

山頂を目指している道中で見た景色はとても美しく、楓の葉の赤さが際立つ構成になっている。